

「金沢を歩く」を携えて、カナダより読者来る。

氏名：安川 よし子、紺谷 啓 職業： 都道府県：石川県

7年前、金沢市内をガイドしたカナダ在住のご夫婦が、今回、前金沢市長 山出保さんの著書「金沢を歩く」に魅せられて6月6～9日まで、母上を伴われてリピーターとして三泊四日の日程で来沢し、県内観光と著者に面会し懇談されました。その四日間の様子をお伝えします。



・訪問者のご氏名

高橋 賢（65歳）、敦子 ご夫婦。
本園 義子（82歳、敦子さんの母）

・住所

高橋ご夫婦は、カナダ リッチモンド在住 金沢は7年前に訪問
本園義子様は、福岡在住。金沢訪問は初めて

・来沢の動機

「金沢を歩く」という著書に魅せられて、著者に会いたくなった。（右画像の手紙参照）

ご主人・賢さんは、なんとといっても前回、訪問できなかった「西田幾多郎記念館」・「夢二館」・「21世紀美術館」訪問。

奥様と母上は、「金箔体験」・「手描き友禅体験」をし、北陸新幹線の搭乗、それと北陸の新鮮な料理を賞味し、ゆっくりと金沢を歩き、百万石の城下を満喫したとのことだった。



・日程

下記の如く、ガイド分担を決めて県内を案内した。

【初日（6月7日）】

ご主人は「西田幾多郎記念館」「鈴木大拙館」「成巽閣」等の見学。ガイドは紺谷。

奥様と母上は、「ひがし茶屋街」「城址公園」「成巽閣」見学と金箔体験。ガイドは安川。

夜は、ホテル日航で「金沢を歩く」の著者・山出保氏を囲んでの懇談会。

出席者は、著者、ご夫婦、母上、安川、中村（金沢観光ボランティアまいどさん、英語が堪能）、紺谷 以上7名

午後6時より7時半まで、著者を囲んで、出席者が石川の魅力について話し合いました。

その中で、再度の当地訪問のポイントは、

- ①歴史・伝統工芸・加賀百万石の城下の面影が濃く残っている。
- ②北陸新幹線の開通で首都圏との時間が大幅に短縮された。
- ③何度来ても、また来たくなる町だ。魅力に溢れ、思い出に残る町だ。
- ④西田幾多郎という世界的哲学者の記念館が生誕の地でもある加賀と能登の中間の素晴らしい環境の中に在り、建物・展示内容の充実さに感激した。

午後、訪問した本多町の「鈴木大拙館」でも両氏の友情の深さにも感激した。

との、指摘があった。今後、山出さんの著書に負けない石川県の魅力を紹介した著書の必要性を感じました。情報伝達手段は、電子の世でも、印刷物が一番と思う。

【二日目（6月8日）】

午前兼六園と城址公園を安川と紺谷が案内しました。

昼食を共にし、お別れしました。ガイドは紺谷。（右画像は、高橋ご夫婦からの御礼状）

・結果

安川は、ガイド歴4年目です。私・紺谷は15年目です。今回は短い時間でしたが「金沢を歩く」の著者との懇談の場をセッティング出来、懇親できたことは、安川、紺谷共々、観光特使としての使命を果たせたと自負している次第です。又、安川は英会話のスキルアップにもつながりました。



今後も、色々な機会を利用して「石川の魅力」のPRに務めたい。

Masaru & Atsuko Takahashi

72-10220 Dunoon Drive, Richmond, BC Canada V7A 1V6

Phone/Fax: 604.277.5297

email: masaru@telus.net

平成 28 年 3 月 7 日

紺谷啓様

拝啓 三月に入り、大分暖かくなってまいりましたが、その後お変わりなくお過ごしでしょうか。

我が家では先月の梅に続き、桜が間もなく開花しそうです。チューリップはじめ多くの花や木が芽を出し始め、まさに春の訪れが感じられる今日この頃です。落の萇などは例年より多くの収穫があり、早速春の香りとお味を楽しみました。

さて私事ですが、小学校の同級会に出席するため、この春は久しぶりに一時帰国することにしました。学校は各学年二十余名という小さな所でしたので、卒業後五十数年が経つ今日でも懐かしい思い出が沢山あり、友人との再会も楽しみです。

私は小学生時代を神奈川県逗子で過ごしましたが、家の裏手に坂東三十三番観音霊場第二番札所の巖殿寺がありました。ここは金沢の文豪泉鏡花が数年を過ごした寺で、子供の頃より御地との縁をよく聞いていた場所です。

この機会に合わせては国内旅行も計画しており、金沢を是非再訪したいと考えています。6月6日夜より6月9日朝まで貴地に滞在予定です。この間に紺谷様がよろしければ、お目に掛かりたいと思いますが、ご都合はいかがでしょうか。

7年前に初めて金沢を訪問して以来、私どもにとって御地は忘れえぬ場所となりました。先に送っていただきました山出様の著書「金沢を歩く」を読み返しては、街の素晴らしさを改めて思い出しています。

今回は金沢が初めての義母と共に旅行しますが、私たち夫婦が今度は案内役にもなれるよう勉強しているところです。また時期が近づきましたら、ご連絡を差し上げたいと存じます。どうぞお元気で

敬具

高橋 賢

2016年6月23日

紺谷啓様

二箇月にわたる旅を終え、バンクーバーに無事戻りました。金沢では紺谷様に貴重な時間を費やしていただき、いろいろなご配慮を賜り、まことにありがとうございました。お蔭様で大変充実した時を過ごすことができ、良い思い出となりました。

これまでに送って頂いた資料や本を参考に、貴地を再び訪れて、その美しさに改めて感動いたしました。母も金沢の伝統文化や歴史に、すっかり魅せられたようです。安川様にはご丁寧なご案内をしていただき、こころより感謝申し上げます。

また、山出保様にお目に掛かる機会を与えて頂き、大変光栄でございます。著書を拝読し、また実際にお話を伺って、氏が永年取り組んでこられた歴史都市づくりへの熱意や金沢の街をこよなく愛される優しいお人柄が感じられ、感銘を受けました。

皆様と楽しい時間を過ごした上、お土産まで頂戴し、ご親切に恐縮するばかりです。九谷の茶器は素晴らしい絵柄がとても気に入りました。私たちの宝物として長く大切に使用させていただきます。

今回の旅行は親族や友人と再会し、絆を深める良い機会になりました。ご無沙汰してしまった人々が、日頃は遠く離れていても、まるで昨日まで一緒に過ごしていたかのように迎えてくださり、本当に心温まる思いがしました。

皆様のご厚意に重ねてお礼申し上げます。梅雨に入り、これからは暑い季節を迎えることと思いますが、どうぞお体を大切にお過ごしください。またお目に掛かる日を楽しみにしています。

高橋 賢 教子